



保育理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る
保育園
- 2、地域の多様な子育ての要求を受け止め
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、す
べてのものの生命を大切に、平和な社
会をめざす保育園

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、
一人ひとりの発達を援
助する
- 2、保護者と子育てを協同
する
- 3、保育園の社会的役割を
はたす

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現
し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切に
する子ども

ある日のエピソード

先日、ひよこ組にお手伝いに入った
時のこと・・・
ちようど一才になったばかりの女の
子が、チェーンの遊具を小さい容器に
入れようとしていました。チェーンは
長いので、なかなか入らず悪戦苦闘し
ていました。手伝ってあげたいところ
をぐっと我慢して手を出さず見守って
いると、かなりの時間はかかりました
が入りました。入った瞬間に「でき
よ！」という満面の笑みで私の方に振
り返りました。そのお子さんは間髪入
れずに私の方を見たので、私がずっと
そこで見守っていたことを知っていた
のでした。そして、助けを求めず自分
でやるところを見ていてほしかったの
だと思いました。

「自分でやりたい」と挑戦する気持ち
や「自分でできた」という達成感を味
わう気持ちが、こんなにも小さいうち
から育まれるものなのだと、改めて感
じたエピソードでした。



9月中旬頃に3日間、烏山中学校の生徒さんが職場体験に来ました。小さな子どもたちと触れ合うのは初めてという生徒さんばかりで、はじめは不安そうでした。でも子どもたちの方から積極的にアプローチしていくので（小鳥の森の子は人懐っこいとよく言われます！）すぐに打ち解け、3日間楽しく過ごせたようでした。その生徒さんの感想の中に「一番やりがいを感じたのは、子どもたちの笑顔でした。そして、その子どもたちの笑顔を見た保育士の皆さんも笑顔になっていました」と書かれていました。まさに職員の元気の素は子どもたちの笑顔です。それを中学生の生徒さんが感じ取ってくれたことは大変嬉しいことでした。

保育園は、労働環境が十分整わない職場と言われ、保育士不足に悩まされていますが、大変な中でもやりがいのあるこの仕事に少しでも魅力を感じてもらい、未来の保育士さんにつながっていったら、思います。

園長 真鍋 桂子

今月の予定

- | | | | | |
|--------------------------|----------|-------------|-------|--------|
| 5日(水) | 3才児遠足 | ライオン公園 | 雨天予備日 | 7日(金) |
| (出発前に全クラス、カメラマンの撮影があります) | | | | |
| 12日(水) | 4, 5才遠足 | 花と緑の広場 | 雨天予備日 | 14日(金) |
| (出発前に全クラス、カメラマンの撮影があります) | | | | |
| 13日(木) | 健康診断(全員) | | | |
| 15日(土) | 1年生を迎える会 | 11:00~12:00 | | |
| 22日(土) | 3年生を迎える会 | 11:00~12:00 | | |
| 19日(水) | 身体測定(幼児) | 20日(木) | 身体測定 | (乳児) |

※10月下旬にさつまいも掘りの予定があります。畑の状態によって日程が決まりますので、決定次第お知らせします。

